

国際交流のひろば

海外教育(実践)研究B,Cおよび短期海外研修プログラム説明会

4月17日（水）、18日（木）、学部生および大学院生を対象とした説明会を開催しました。

海外教育(実践)研究B（アメリカ合衆国）、海外教育(実践)研究C（韓国）、短期海外研修プログラム（シンガポール）において、現地で教育現場を訪問し、授業参観や授業実践などを行うことを目的に実施するものです。

各説明会には多くの学生が参加しました。



新入留学生オリエンテーション



4月23日（火）12時から人103において、4月入学の留学生を対象としたオリエンテーションを実施しました。

押木国際交流推進センター長の挨拶、留学生の自己紹介に続き、佐藤留学生支援専門部会長及び担当課から「4つの留学生支援方針」「留学生履修プログラム」「修学・生活上の諸手続き」「学研災保険」「宿舎入居の心得」「研究活動の不正行為の防止及び研究倫理」等について説明がありました。

新入生のみなさんは熱心に耳を傾けていました。



よろしくお願いします!

4月に入学した留学生は、中国4名、マラウイ2名、ガーナ1名です。これにより本学で学ぶ留学生の数は博士課程を含めると21名となりました。

李慧媛と申します。出身は中国の新疆です。趣味は旅行や小説を読むことです。2022年から2年間、東京の日本語学校で勉強し、今年の3月28日に上越市に来ました。東京と全く違って、最初はびっくりしたが、上越の空気がいいし、とても静かな所です。今はだんだん慣れてきました。上越教育大学入学後、教授と先輩たちと一緒にお花見に行きました。みんな優しくてお世話になりました。東京とは雰囲気が違って、とても楽しかったですよ。

Hi! I'm Bright Damankah, from Ghana. As a Graduate School Research Student at Joetsu University of Education, I'm excited to belong to Joetsu's serene and ever-welcoming community. I am keen to explore Japan's rich history and culture and to establish meaningful intercultural connections during my stay here.

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
TEL:025-521-3299 (研究連携課 国際交流・地域連携チーム)

国際交流のひろば

留学生等の交通安全教室

5月15日(水)12時10分から人103において、交通安全教室を実施しました。

自転車の交通ルールを示した自転車安全利用五則に沿って、自転車を安全に利用するための交通ルール、また自転車事故の事例をスタントマンによる再現映像やドライブレコーダー映像を用いた動画を見て学びました。参加した留学生らは真剣な様子で見ていました。

11月の交通安全教室では上越警察署員をお招きし、秋の交通安全教室を実施する予定です。



上越地域散策 高田町歩き



6月12日(水)13時から高田町歩き見学を実施し、留学生、チューター等16名が参加しました。

上越の歴史・文化に触れる体験を目的に、浄興寺、宝物殿、高田城址公園、高田城跡内を上越市歴史博物館長の花岡さんらの解説を聞きながら見学しました。

参加した張啓承さん（中国）は「今日は皆さんと一緒に高田のお寺と高田城址公園、高田城を見学しました。日本の仏教を詳しく知り、高田城の歴史を勉強して、それぞれの壮観な光景を鑑賞しました。今日はとても有意義な一日を過ごしました。ありがとうございました。」と感想を話していました。

学長と4月入学留学生との懇談会

6月18日(火)15時30分から学長室において、学長との懇談会を実施し、林学長、佐藤留学生支援専門部会長、松尾留学生支援副部会長と留学生4名が出席しました。

最初に学長から歓迎と励ましの言葉、留学生の自己紹介、続いて日本のおもしろいことや感動したこと、食べ物の話、教員免許や本学協定校についてなど、和やかに懇談が行われました。

ジェレ・エマさん（マラウイ）は「人とつながり、自分の経験を分かち合い、大学のコミュニティに溶け込んでいることを実感できる素晴らしい機会だった。」と感想を話していました。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
TEL:025-521-3299 (研究連携課 国際交流・地域連携チーム)

国際交流のひろば

您好！語学教室（台湾華語）

6月26日(水)～7月31日(水) 12時から図書館セミナー室において語学教室(台湾華語)を全6回実施しました。留学生の胡博翔さん(台湾)が講師となり、学生など8名が参加し、台湾を訪問した時にも使える簡単な表現を学びました。参加者からは「毎回復習の時間があって理解しやすかった」「今後も勉強を続けて台湾へ旅行に行った時にコミュニケーションを楽しみたい」などの感想が寄せられました。



上越国際交流協会との連携連絡会



7月8日(月) 15時から中会議室において開催し、本学および上越国際交流協会の事業実施状況や連携事業等について意見交換を行いました。この連携連絡会はこれまで培ってきた連携・協力の実績を基盤に、より一層の連携協力を図るため2010年に設置されたものです。

上越国際交流協会からは清水理事長、河西副理事長、佐藤事務局長の3名、本学からは林学長、中山理事、押木国際交流推進センター長、周東協定校交流推進専門部会長、浅倉国際交流推進センター専任教員、藤谷国際交流推進センター専任教員が出席しました。

各種奨学金に関する説明会

7月9日(火) 12時から人103において私費外国人留学生を対象とした各種奨学金に関する説明会を実施しました。

藤谷国際交流推進センター専任教員から「ロータリー米山奨学金」「平和中島財団奨学金」「上越教育大学私費外国人留学生奨学金」「JEES留学生奨学金」などの内容、応募方法、過去の採用状況、応募の際の注意事項などを説明しました。



中華人民共和国駐新潟総領事館からの訪問

7月19日（金）中華人民共和国駐新潟総領事館から段玉光副領事と窦曉慧領事アタッシェの訪問を受けました。

本学附属小学校での意見交換や学長・理事との懇談、本学に在籍する中国人留学生との交流を行いました。中国人留学生との交流では、自己紹介に続けて、最近被害の拡大している通信詐欺への注意や領事館の相談窓口の案内などがあり、留学生は真剣な様子で話に聞き入っていました。



外国につながる子どもたちへの修学支援事業 「夏休みの宿題教室」



7月24日（水）～25日（木）夏休みの宿題教室を実施しました。令和6年度外国につながる子どもたちへの修学支援事業によるもので、上越地域在住の外国につながる子どもたちを対象に、学習支援を行うものです。外国人留学生3名および日本人学生13名が支援者として参加し、児童生徒20名が夏休みの宿題の中で一人では取り組むことが難しい部分を中心にサポートしました。

児童生徒と本学の学生、留学生が直接触れ合い、コミュニケーションをとり、一緒に考え調べながら全員で学習しました。また学年や母語が同じ児童生徒や兄弟での「グループ学習」を試みました。

令和6年度留学説明会

7月30日（火）12時から人103において日本人学生を対象に本学と協定を締結している海外の大学の情報提供や留学支援制度を紹介することを目的とした留学説明会を実施しました。

周東協定校交流推進専門部会長から海外の協定校の紹介、日本人学生による海外短期留学の体験発表、国際交流・地域連携チームから「海外留学支援制度(協定派遣)」「トビタテ!留学JAPAN新・日本代表プログラム」などの留学支援制度などについて紹介がありました。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
TEL:025-521-3299 (研究連携課 国際交流・地域連携チーム)

国際交流のひろば



留学生の日本文化・歴史体験に関する研修

8月7日（水）南魚沼市に置いて研修を行い、トミオカホワイト美術館、魚沼の里、鈴木牧之記念館を見学しました。

参加した吳薇さん（中国）は「今回のバスツアーで最も興味深かったことは、トミオカホワイト美術館で見た油彩画で、長岡の花火大会、富士雪景と中国の桂林山水です。鮮やかな花火、地上では想像できなかった大きく美しい富士山、中国でも有名な桂林の景色など、綺麗な油彩画を見て、とても楽しかったです。昼食は魚沼の里で八海山定食を食べ、美味しかったです。」と感想を話していました。



短期留学生成果発表会

8月28日（水）15時30分から人103において実施しました。

令和5年10月～令和6年9月までの期間、本学協定校から交換留学生として学んでいるエヴァン・ヒラルさん（チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学、トルコ）と李賀さん（哈爾濱師範大学、中国）の2名が、本学での学修成果と日本での留学生活について発表しました。



外国人留学生による国際理解派遣プロジェクト

本学の留学生を地域の学校機関に派遣し、学校現場の国際理解教育に役立てていただくとともに、留学生が日本や上越地区に対する理解を深める交流事業となることを目的として「外国人留学生による国際理解教育派遣プロジェクト」を実施しています。

7月5日（金）上越高校からの依頼により、ガーナと台湾出身の留学生が自国の文化や上越の印象などについて講演を行いました。終了後、高校生から「他国の文化や学校での過ごし方とか色々知らないことを知ることができてとてもいい機会だった」など感想をいただきました。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
TEL:025-521-3299(研究連携課 国際交流・地域連携チーム)

国際交流のひろば

短期留学生修了証書授与式

9月2日（月）15時から学長室において短期留学生修了証書授与式を執り行いました。

昨年10月から特別聴講学生として在籍した哈爾濱師範大学およびチャナッカレ・オンセキズ・マルト大学からの2名に学長から修了証書が授与されました。

1年間の留学を無事に終え、ほっとした様子で、それぞれ帰国の途に就きました。



特別聴講学生 李賀（中国）

振り返ると上教大で過ごした日々が自分にとって、どれほど貴重で豊かな時間であったかをかみしめています。空気が澄んでいて、鳥が鳴く朝に単語を覚え、静かな図書館で本を読み、夕方にゼミ室で綺麗な夕焼けを見るのは幸せでした。一年間、野澤先生や日本人の友達は私に温かい手を差し伸べてくださいり、様々な困難を乗り越えました。気楽な雰囲気の中、私の日本語は進歩を遂げ、楽しい留学生活を過ごしました。勉強以外に、日本を旅行しました。天草のジャンプしたイルカ、白浜海のエメラルドグリーンの海、鳴門の巨大な渦潮など大自然に感心しました。2024年の元日、上越で私は能登半島地震の苦しみを味わいました。日本人は災害の脅威に直面する時、助け合い、一緒に難局を乗り越える場面の粘り強い精神を心から敬服しています。この場をお借りしてお世話になった皆さんにお礼を申し上げますとともに、上越教育大学の益々のご清栄と、哈爾濱師範大学と上越教育大学が中日両国の友好の架け橋として学術交流を続けられることをお祈り申し上げます。改めて、本当にありがとうございました。

修了生からの手紙

令和6年3月に教職大学院（幼年教育）を修了し、現在、中国で活躍されている唐一欣さんからお手紙が届きました。

令和5年度教職大学院修了生 唐一欣（中国）

皆さま、ご無沙汰しております。お元気ですか。2020年から2024年まで、幼年教育コース山口ゼミでお世話になりました。現在は中国江蘇省の幼稚師範専門学校に勤めています。振り返ってみると、上越教育大学大学院で、専門的知識と実践力を身につけ、未来への挑戦を支える土台ができたと感じています。

在学中、様々な活動に参加することによって、地域の人々とのつながりができました。その中で、一番印象に残ったのは「留学生スキーのつどい」でした。上越は、スキー発祥地であり、スキービークを通して、参加者相互の友情が深まり、スキーを好きになった上で、雪国の魅力を存分に感じることができました。

間もなく上越から離れて半年経ちますが、上越で過ごした貴重な時間はさまざまと思い出することができます。改めて、今までご支援くださった上越教育大学の皆様に厚く御礼申し上げます。



上海安福街のwigglewiggleにて

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
TEL:025-521-3299(研究連携課 国際交流・地域連携チーム)



国際交流のひろば

上越教育大学

第256号
2024年10月

令和6年度海外教育(実践)研究C(韓国)の成果発表会

海外教育(実践)研究C(韓国)は、大学院及び学部の授業科目として行っているもので、令和6年度は9月23日～9月27日の5日間、本学の協定校である韓国教員大学校で授業参観や授業実践を行い、ソウル市内で文化研修などをしました。

10月31日(木)12時から人103教室において、成果発表会を開催し、本学学生が現地で授業実践を行った成果を発表しました。



韓国教員大学校で
歓迎を受けました

学長と10月入学留学生との懇談会



10月31日(木)15時から学長室において、林学長と10月入学留学生との懇談会を実施し、佐藤留学生支援専門部会長と留学生7名が出席しました。

最初に学長から歓迎と励ましの言葉があり、続いて留学生の自己紹介と日本や上越の感想、将来の夢などについて和やかに懇談しました。

留学生から林学長に「上越でおもしろいことは何ですか」「おすすめの食べ物は」などの質問がありました。



よろしくお願いします！

10月に入学した留学生は、中国6名、台湾1名、トルコ1名の計8名です。

これにより本学で学ぶ留学生は、博士課程を含めると27名となりました。

カヤさんに自己紹介をお願いしました。



日本語・日本文化研修留学生 カヤ シネム（トルコ）

はじめまして。トルコではチャナッカレ・オンセキズ・マルト大学日本語教育学科4年生です。他の言語や文化に興味があり、母語以外の言語を学ぶことは人生や世界を別の視点から見る貴重な経験だと感じ、留学したいと考えていました。上越教育大学では、社会学に関連する研究をしながら、教育や日本語、日本文化に関する授業に出席します。上越は静かで自然豊かな街だと思います。牛丼、寿司、たい焼き、たこ焼き、笹団子などを食べましたが、これからもいろいろな料理を食べるのが楽しみです。1年間で日本人の生活や習慣を体験しながら、日本をもっと知るためにお祭りやイベントに参加し、日本各地を旅行する予定です。特に京都の宇治や小さな島々を訪れるのを楽しみにしています。また、日本人学生と他の留学生との交流を通じて、お互いの理解を深めたいと考えています。

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
TEL:025-521-3299(研究連携課 国際交流・地域連携チーム)



新入留学生オリエンテーション

11月5日（火）12時から人103において、10月入学の留学生を対象としたオリエンテーションを実施しました。

押木国際交流推進センター長の挨拶、留学生の自己紹介に続き、佐藤留学生支援専門部会長及び担当課から「4つの留学生支援方針」「留学生履修プログラム」「修学・生活上の諸手続き」「学研災保険」「宿舎入居の心得」「研究活動の不正防止及び研究倫理」等について説明がありました。



留学生等の交通安全と防犯教室



11月20日（水）13時から人113において実施し、留学生、チューター等24名が出席しました。

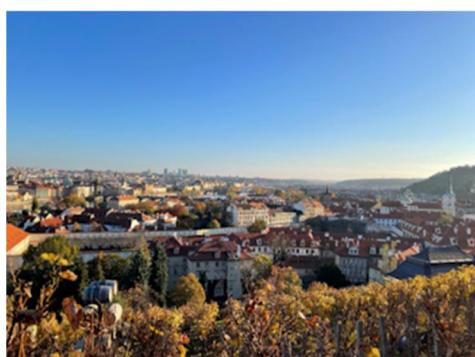
上越警察署警備課及び交通課の警察官から交通ルールや身近で起こっている犯罪について分かりやすくお話をいただきました。最後に李玉源さん（中国）は「私たちの国にない交通規則について知り、規則を守ることは自分と他人の安全を守るためにあると痛感しました。犯罪と詐欺についても、このようなことに巻き込まれないように心掛けます。」とお礼の言葉を述べました。

カレル大学(チェコ)への派遣留学生の留学レポート

令和6年10月～令和7年2月まで本学協定校であるチェコのカレル大学へ、海外留学支援制度（協定派遣）により留学した高松杏里さんから留学レポートが届きました。

道徳・進路・生徒指導領域 教職大学院3年 高松杏里

こんにちは！私は現在、チェコ共和国のカレル大学に半期の留学をしています。こちらに滞在して1か月が経ちました。街並みや言語、気候などあらゆることが新鮮で充実した日々を過ごしています。この写真はプラハ城からの眺めです。お天気も相まって、ずっと見ていられるような素晴らしい景色でした。大学ではチェコ語や英語、言語学、心理学の授業を受けています。ヨーロッパ圏からの留学生と共に学んでいますが、彼らの英語力の高さには圧倒される毎日です。他には白米や湯船など日本文化を恋しく感じることも、なかなか面白い体験だなと思います。これからもいろんな体験を大切にしながら実りの多い留学になるといいなと思っています。



プラハ市街の風景

発行・お問い合わせ先

〒 943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
TEL:025-521-3299(研究連携課 国際交流・地域連携チーム)

国際交流のひろば

留学生が語る／留学生と語る会



おにぎり作り

留学生による
自國のお話し

12月13日(金)18時から大会議室において開催し、地域の方々、学生、教職員など40名が参加しました。

今回は「各国の防災について語り合おう」をテーマに、長谷川留学生支援専門部会委員の進行のもと、佐藤留学生支援専門部会長から非常時に役立つおにぎり作りや防災の話、また、中国、台湾、ガーナ、マラウイの留学生から自国の災害や防災の取り組みなどをポスターにして解説しました。

参加者からは「文化の違い、土地の違いを体感できた。世界を広げてください、ありがとうございます」「おにぎりは非常に役立ちそう。意外に美味しかった」「体験型の活動がとても楽しかった」「ポスターは各国の対応の相違が見えた」などの感想が寄せられました。

世界を語ろう！

世界の文化・生活・言葉などについて交流する「世界を語ろう」を実施しました。

1回目は9月10日エヴギン・ヒラルさん（トルコ）、12月18日ダマンカー・ブライトさん（ガーナ）が語り手となり、自國のおもてなし文化や美味しい食べ物、学校の様子などを紹介しました。

一緒に楽しい時間を過ごしました。



外国につながる子どもたちへの修学支援事業「冬休みの宿題教室」



12月26～27日、本学において実施しました。

令和6年度外国につながる子どもたちへの修学支援事業によるもので、上越地域在住の児童生徒を対象に学習支援を行うものです。外国人留学生及び日本人学生16名が支援者として参加し、児童生徒16名が冬休みの宿題の中で一人では取り組むことが難しい部分を中心に支援を行いました。

「個別学習」と学年や母語が同じ「グループ学習」を試みました。児童生徒と支援の学生が直接触れ合い、一緒に考え調べながら学習しました。

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
TEL:025-521-3299(研究連携課 国際交流・地域連携チーム)

国際交流のひろば

令和6年度外国人留学生との意見交換会



1月22日(水)16時30分から人113において実施し、留学生、チューター、教職員が出席しました。押木国際交流推進センター長の挨拶の後、小グループごとに意見交換を行いました。修学、生活、連携の話題を中心に、留学生から生活や宿舎、授業など日頃の悩みや考えていることの意見や要望をお聞きし、グループごとにアドバイスや解決方法を話し合いました。この会で得た意見から対応や改善をし、今後も留学生支援につなげていきます。

修了留学生成果発表会

2月18日(火)10時20分から人113において開催しました。

発表者は教員研修留学生のダマンカー・ブライトさん(ガーナ) ジュマ・エサヤ・チコンディさん(マラウイ)、ジェレ・エマさん(マラウイ)、特別研究学生の肖嵐さん(中国)の4名です。

それぞれ上越での体験や留学生活の思い出と1年間または半年間の各自のテーマで取り組んだ研究成果を発表しました。



留学生スキーのつどい

2月19日(水)上越市安塚区キューピットバレイスキーセンターにおいて実施しました。スキー発祥の地である上越の地域性を生かし、留学生がスキーを体験するとともに、スキー実習を通して、参加者相互の親睦を図ることを目的に実施しています。初めてスキーを体験した肖嵐さん(中国)から感想をお聞きしました。



特別研究学生 肖嵐(中国)

最初は歩くことも難しかったですが、インストラクターの指導のもと、少しずつ滑ることで緊張が和らぎ、リフトにも乗って、段々スキーを楽しみました。雪の降らない地域で育った私にとって、とても貴重になりました。最初は失敗ばかりでしたが、最後は坂の上から一人で滑ができるようになり、「挑戦することの大切さ」を学ぶことができました。

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
TEL:025-521-3299(研究連携課 国際交流・地域連携チーム)



国際交流のひろば

上越教育大学

第260号
2025年3月

令和6年度上越教育大学国際交流のつどい

3月6日（木）17時から本学第一食堂において、日頃より本学の国際交流活動や留学生に対し、ご支援をいただいている地域の方々と意見交換を行い、本学の国際交流に役立てるとともに相互の親睦を深めることを目的に開催しました。地域の方々、教職員、留学生、学生、また遠方等の方々および海外在住の修了留学生などWeb会議システムを利用したオンラインでの参加者を含め、全71名が参加しました。佐藤留学生支援専門部会長の進行のもと、学長のご挨拶、押木国際交流推進センター長による本学の国際交流の現状や留学生による活動報告等を行い、懇談会では交流を深める有意義な時間を過ごしました。



第一部
本学の国際交流の現状
及び留学生の体験発表



学生表彰

3月6日（木）国際交流のつどいの中で執り行われ、李玉源さん（中国）に押木国際交流推進センター長から表彰状が授与されました。本学の留学生支援の一つとして行っているJ-TEST実用日本語検定において、受験者全体の0.3%と言われている「特A級」に認定されたためです。おめでとうございました。



大学院修了留学生記念品贈呈式

3月10日（月）16時から大会議室において、3月に修了する留学生に学長から記念品が贈呈されました。

李博さん（中国）は「多くの先生方や友人たちに支えられながら成長することができ、楽しい思い出も、大変だった日々も、すべてがかけがえのない経験となりました。ここで学びを生かし、精一杯頑張ります。ありがとうございました。」と感謝を述べました。



短期外国人留学生修了証書授与式

3月10日（月）16時15分から大会議室において、教員研修留学生3名（ガーナ1名、マラウイ2名）と特別研究学生1名（中国）に修了証書が授与されました。学長からお祝いの言葉が述べられ、修了生は一人ずつ感謝の言葉を述べました。

無事に修了式を迎え、それぞれほっとした様子で3月末に帰国されました。

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
TEL:025-521-3299(研究連携課 国際交流・地域連携チーム)